



10/2 Hirado City Photo News 輝く汗と笑顔



平戸市総合運動公園ライフカントリーで第21回平戸市小学校陸上大会が開催され、平戸市内の小学校15校から6年生と複式学級の5年生合計238人が参加しました。

大会では100メートル走、60メートルハードル、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げ、4×100メートルリレーの6種目が行われ、会場には応援の声と拍手が響き渡りました。

平戸市小学校陸上大会は、今大会が最後の開催となり、長い歴史に幕を下ろしました。

10/1 Hirado City Photo News 20年の歩みを胸に、次の未来へ



平戸文化センターで、平戸市市制施行20周年記念式典が開催されました。当日は関係者や一般参列者ら合わせて約370人が来場し、平戸市のこれまでの歩みを振り返るとともに、未来への展望を共有する節目の式典となりました。

式典では、20年を振り返る市長のスピーチや功労者への表彰、平戸中学校吹奏楽部の演奏などが行われ、会場は温かな雰囲気になりました。市制施行20年を迎えた平戸市は、これからも地域の魅力を活かし、さらなる発展を目指して歩み続けます。

9/25・10/2 Hirado City Photo News 書道で笑顔の交流



9月25日に平戸市ふれあいセンターで、10月2日に田平町民センターで、障がい者交流事業の一環として書道ワークショップが開催されました。

本ワークショップは、10月26日開催の「平戸市福祉健康まつり（ながさきピース文化祭2025）」での書家・金澤翔子さんの映画上映にあわせ、障がいを持つ人が書道を通じて表現の楽しさを体験し、交流を深めることを目的に企画されました。参加者は筆を手に取り、思い思いの言葉や表現に挑戦。完成作品は、福祉健康まつりの会場内に展示されました。

9/21 Hirado City Photo News ひらど文化の祭典開幕



平戸文化センターで平戸市でのながさきピース文化祭オープニングイベントとして、DRUM TAO新作舞台「THE BEST」が行われました。DRUM TAOは、世界を舞台に活躍する和太鼓エンターテインメント集団で、圧倒的な迫力と美しさを兼ね備えたステージが繰り広げられ、満員の観客を魅了しました。

また、オープニングセレモニーでは、長崎県立北松農業高校権現太鼓部が太鼓を披露し、会場を盛り上げました。ながさきピース文化祭は11月30日まで開催されます。

10/4~5 Hirado City Photo News 平戸の旬の味覚を堪能



平戸名物のあごと新米の収穫に合わせて、「新あご・新米祭り」が平戸瀬戸市場で開催されました。

会場では、新鮮な焼きあごや新米おにぎりの振る舞い、生あごの詰め放題など、地元の味を存分に楽しめる企画が盛りだくさん。さらに、「あごピザ」「あご小籠包」「あごかまぼこ」なども販売され、多くの人でにぎわいました。また、平戸あごPR隊長「とびまる」も登場！来場者と記念撮影をしたり、新あごの魅力を元気いっぱいPRしたりと、会場を飛び回って祭りを盛り上げました。

10/4 Hirado City Photo News 開館70周年を記念して



松浦史料博物館開館70周年記念式典が開催されました。式典は雨天のため、平戸オランダ商館内で行われ、関係者ら約60人が出席し、節目を祝いました。式典では、松浦家第41代当主で松浦史料博物館理事長の松浦章さんが登壇し、「多くの方々の支えがあって、70年続けてこれた」と感謝の言葉を述べました。また、松浦史料博物館職員の尽力が、博物館の運営と地域文化の継承に大きく貢献してきたことにも触れ、今後のさらなる発展への期待を語りました。

9/28・10/4 Hirado City Photo News 文化をみんなに、ひらど文化の祭典



9月28日に平戸文化センターで「オペラ根獅子浜の不知火おろくにんさま」(写真上)が開催され、平戸市内から公募した約50人も出演しました。

10月4日にも、平戸文化センターでひらど文化まつり「国文祭スペシャル小中高生の部」(写真右上)が行われ、平戸市内の小中高生の皆さんが、日ごろの文化芸術活動の成果を披露しました。

10月12日には、松浦史料博物館・平戸オランダ商館・棲霞園で「ひらどで大茶会～武家茶道鎮信流～」(写真右)が行われました。

